

# みんなの町議会



## 目次

- 3月定例会の経過…………… 2
- 臨時会・全員協議会…………… 3
- 常任委員会の焦点…………… 4～5
- 一般質問に7人登壇…………… 6～13
- 陳情・議員研修報告…………… 14
- あれ なんと なった べが…………… 15
- 楽しんでます・がんばってます…………… 16

**No.138**

2019年5月1日

7年ぶり復活  
さくらまつり

平成31年度一般会計

56億5,100万円 (前年比) (8.4%増)

小学校建設に8億円

3月

定例会

議会の経過

3月定例会は3月4日から12日までの9日間の日程で開かれた。

初日渡邊町長は施政説明で、「湖東厚生病院の運営に対する支援が引き続き必要であることから、31年度から35年度までの5年間、県と地元4町村による新たな負担割合により支援する。

小学校改築事業の本体工事に着手する。総額を27億954万2千円とし、31年度8億1,286万3千円を、32年度で残り18億9,667万9千円を措置して校舎・体育館・給食室及び外構を整備する。

千代田区五城目町姉妹提携30周年記念式典を9月6日町民センターで開催する。千代田区との交流は年を追うことに多方面で積極的な交流が図られ友好を深めている。今後地域間交流を推進し協力関係を深め更なる発展を目指す。

防災行政無線は4月1日より本格運用を開始し、災害や火災などの緊急放送はもちろんのこと、必要に応じて町の広報などを放送し町民の安心安全の確保に努める」と述べた。

2日目、3日目の一般質問には7名が登壇。風疹対策、児童虐待、財政から見た現状と課題、新年度町はどのような一年を目指すか、子どもが育つ家庭環境、広報戦略、障害者雇用などの質問をした。

3日目、31年度一般会計予算案、防災行政無線通信施設設置条例制定案など28件が上程され、各委員会で審査した。

最終日は各常任委員長報告の後、31年度一般会計予算案は賛成多数で、残り27件の議案は全会一致で可決とした。陳情5件は全会一致で採択とした。委員会提出議案2件は賛成多数、残り2件は全会一致で可決し閉会した。

平成31年度の主な予算

- 小学校改築事業 8億1,286万円
- 高規格救急車購入費 3,822万円
- 地域活性化支援センター指定管理料 1,290万円
- 湖東厚生病院運営費補助金 2,392万円
- 社会福祉協議会補助金 2,300万円
- 八郎湖周辺清掃事務組合負担金 7,662万円
- 廃棄物収集運搬委託料 4,700万円
- し尿処理業務等委託料 4,160万円
- 多面的機能支払交付金 4,977万円
- 地方道路整備事業 5,500万円
- 単独道路整備事業 1,896万円
- 道路除雪委託料 3,000万円



小学校完成予想図

(石井 光雅)

# 議会議員全員協議会

第1回

平成31年1月23日

協議案件

1. 五城目町防災行政無線整備工事について



本格運用した防災行政無線

第2回

平成31年2月18日

協議案件

1. コミュニティ生活圏形成事業について



経営改善中の湖東厚生病院

## 事務局職員紹介



猿田 玲子  
(前事務局長)

五城目町議会の歴史と文化に触れ、多くの学びと貴重な体験を得ることができました。

ありがとうございました。ご指導、ご協力ありがとうございました。



門間 良雄  
(新事務局長)

4月1日付の人事異動で議会議務局長に就任いたしました門間良雄です。これまで

議会議務局長とは無縁の部署で働いて参りましたので不安な思いを抱えながら日々奮闘しております。

議会は住民を代表する機関であり、地方公共団体の意思を決定する機関でありますから、行政と議会が町の発展と住民福祉等の向上のため果たす役割はとて大きく、事務局職員一同、議会の補助機関として円滑な議会運営に寄与できるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

上程議案

広ヶ野橋橋梁補修工事請負変更契約の締結及びそれに伴う一般会計補正予算について審議し、全会一致で可決した。



工事中の広ヶ野橋

報告案件

1. 湖東厚生病院運営費補助について
2. 五城目小学校改築事業について
3. 多面的機能支払交付金事業について



住民の足 乗合タクシー

(石井 光雅)

(畑澤 洋子)

# 総務産業 常任委員会

## 町道路線廃止について 副町長に出席求める



用地地目が山林となっていた町道クリーンセンター線

昨年解体されたクリーンセンターに通じる町道を廃止するにあたり、敷地と道路の地目が山林となっていることについて多くの意見が出され、副町長に出席を求めた。昭和63年の建設当初から適切な事務処理がされていなかった経緯を説明し、謝罪した。今後林道に認定し、その後町道を廃止する。

## 湖東厚生病院への支援額が大幅減



地域医療の要、湖東厚生病院

平成26年開院の湖東厚生病院に対して県と地元三町一村で補助支援している。

平成31年度から5年間、町の支援金負担上限を年額2,392万とし、昨年度より4,183万円の大大幅減となる。

財源内訳は

特別交付税1,914万円(8割)

一般財源478万円(2割)

県及び町村の支援上限額

・秋田県1億1,241万円

・八郎潟町1,766万円

・井川町991万円

・大潟村471万円

地域医療の要である湖東厚生病院の安定経営が望まれる。

## 利用しやすくなる 役場駐車場

平成30年度補正予算で、役場庁舎駐車場のラインの引き直しを行った。

1台当たりの幅がこれまでより30cm広がり利用しやすくなるが、それに伴い駐車台数は10台分少なくなる。(3月下旬に施工済み)



幅が広がった役場駐車場

(荒川 滋)

# 教育民生 常任委員会

## 五城目小学校建設工事 本体工事に着手



上空より建設地を望む

町民が待ち望む五城目小学校の建設工事がいよいよ着工する。31年度、32年度の2年にわたる事業となり、校舎や体育館を始め、地域図書室が入るメディア棟、学童保育が行われる多目的棟も同時に整備される。翌33年度の授業開始を予定している。

委員からは「31年度の関連予算が総額に対して3割となつている根拠は何か」との質疑があり、担当からは「国への学校施設整備費補助金申請の際、前年度3割、後年度7割の歳出割合が定められており、それに基づき算出されたものである」との説明があった。

31年度の建設の目安として、基礎工事が完成し、躯体の柱が立つところまでとしている。

## 子育て支援が拡充される

子育て支援クーポン券事業が開始される。これまで妊婦さんと胎児を守るため健診等の交通手段としてエンゼルタクシー事業を実施していたが、利用率が50%程度であるため事業内容を見直し、エンゼルタクシーの利用を継続しつつ、新たに赤ちゃん用品の購入にも利用できる内容とした。赤ちゃん用品の取り扱いには、イオンスーパーセンターとツルハの町内店舗となる。



子育て世帯に寄り添った事業に

(椎名 志保)



役場庁舎内親局より全町へ発信

## 防災行政無線、運用始まる

長年の町の課題であった防災行政無線が4月1日より、運用を開始する。

災害や火災発生時、また町の広報などの放送にも活用され、町民の安全で安心な暮らしが、より充実することになる。

委員から音量の大きさや通信の長さに対する意見と、地区住民の活用に対しての質問があり、「基本的には災害時に、その地域で緊急性があり、地域の方が放送せざるを得ない状況の際の使用を最優先する」との説明があった。

運用の内容については、4月の広報配布時にチラシを全戸に配布する。

# 一般質問

## 7議員が登壇 ただ 33項目を質す

### 一般質問とは？

一般質問は、年4回（3、6、9、12月）の町議会定例会において行われます。議案とは関係なく、町政全般にわたって議員主導による政策論議であり、通告性が採用されています。一般質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

\*五城目町議会では、質問者1人につき持ち時間は60分（質問・答弁含む）となっています。

### 質問者

#### 畑澤 洋子 議員

- 風疹対策を万全に
- 「予防接種の種類・スケジュール等の告知」に関して
- 任意予防接種に助成を
- マイナンバーカードの普及に関して
- 森林環境譲与税（仮称）有効活用の体制は

#### 石井 光雅 議員

- 児童虐待について
- 町功労者表彰について
- 近畿五城目会について
- 5月豪雨による被災田について
- 自衛官募集の協力について
- さきがけ政経懇話会について
- 町合同厄払、還暦祝について

#### 伊藤 正春 議員

- 財政から見た現状と課題について
- 公共施設総合管理計画について
- コミュニティ生活圏形成事業について
- 高齢者の現状と施策について

#### 荒川 滋 議員

- 新たな元号に変わる新年度、町はどのような一年を目指すか

- 試験放送中の防災行政無線と各地域の避難先の確認について
- 地域おこし協力隊について
- 町有地、公園の有効活用について

#### 椎名 志保 議員

- 子どもが育つ家庭環境について
- 地域包括支援センターのあり方と地域福祉計画策定の必要性について
- 直接的な移住定住対策を
- 町が思い描く今後の我が町の農業の姿は

#### 佐藤 慶彦 議員

- 広報戦略について
- 行財政について
- 教育委員会について
- 施設説明に関して

#### 斎藤 晋 議員

- 児童虐待の対処方法について
- 障害者雇用について
- 2月17日開催の鍋祭りの検証について
- 町道の管理について
- 除雪について

\*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信中 [www.gojome-town.stream.jfit.co.jp](http://www.gojome-town.stream.jfit.co.jp)

# 「ロタウイルス・流行性耳下腺炎」 任意予防接種に助成金を

## 町長 感染症から子供を守るため助成について検討する

**畑澤** ロタウイルス感染症は1歳児に多く脱水や代謝性アシドーシスで入院が必要になる。任意予防接種ワクチンがあっても、高額を理由に接種を選択しない可能性がある。ロタウイルス・流行性耳下腺炎の任意予防接種に助成する市町村が増えている。

**町長** ロタウイルスによる胃腸炎は脱水や脳炎、腎不全等を合併する。流行性耳下腺炎は、感染による髄膜炎や脳炎・難聴等の合併症を引き起こす。保護者の負担を軽減し、感染症から子供を守るため、助成を今後検討する。



手付かず森林に手入れを

### 森林環境譲与税(仮称)実施体制は万全か

**畑澤** 森林の持つ地球温暖化防止や災害防止・国土保全・水源涵養などの公益的機能に期待しており、森林を整備し国民の命を守る意義を持つ政策は歓迎する。町は82%が森林で明らかに森林の恩恵を受けている。譲与税を有効に活用し国土強靱化を進めるための体制は万全か。

**町長** 譲与額試算は、

平成31年	33年度	1,313万円
平成34年	36年度	1,969万円
平成37年	40年度	2,790万円
平成41年	42年度	3,611万円

森林の多面的機能の発揮と林業の成長産業化を目指す。事業費全額を森林環境譲与税基金に積立し次年度以降の事業実施に備える。

### 風しん対策を万全に

**畑澤** 昨年より日本を揺るがしている風しんの流行は、胎児に多大な影響を与える。風しん症候群に罹患しないよう周りの人が免疫を持つ必要がある。39歳から56歳までの男性に抗体検査・予防接種が無料である。春から3年間、町は対象者全員が受けられる体制をしっかりと作るようにしてほしい。

**町長** 町の対象者は891人。働き盛りの男性が受けやすいよう、全国市町村と医療機関・健診機関が、日本医師会と全国知事会に委任し集合契約を結び実施体制が出来る。厚労省のホームページに3月中旬に掲示される。町では特定検診の機会の利用を考えている。

### マイナンバーカードの普及は

**町長** 町の普及率は8.2%。このたびの健康保険証機能の付加など、カード取得者にメリットのあるものが追加されれば改めてPRしていく。

あなたにかわって  
聞きました

一般質問



畑澤 洋子  
(公明党)

# 一般質問

## 児童虐待 町の対応・対策は

### 教育長 早期発見・迅速な対応を徹底する



石井 光雅

**石井** 父親による虐待で小学校4年生の児童がなくなる痛ましい事件があった。この事件で子供を守るべき、学校・教育委員会、児童相談所の判断ミスと連携不足、無為無策があらわになった。本町における児童相談所に相談した件数、及び児童虐待の対応策は。

**教育長** 30年度児童相談所で一時保護された件数は小学校で1件、小中兄弟での保護が1件ある。

虐待や不登校いじめなどの問題はどの学校でも起こりうるという危機感をもつ事は今や常識であり、これまでも様々な問題事を重要な課題として取り組んできた。今後とも早期発見、迅速な対応を徹底するとともに関係機関と連携して、課題の解決に全力で取り組む。

### 近畿五城目会の 実態は

**石井** 近畿五城目会は解散したと聞いているが、現在も存在するのか、その実態は。

**町長** 近畿五城目会は平成28年6月をもって解散している。解散にあたり、多くの会員から町と何らかの形で交流を継続したいと要望があり、このことを受け相互の情報交換や郷土料理を囲んで年1回交流会を開催し、30人前後の方々から参加していただいている。

### 5月豪雨による被災田作付可能か



復旧工事中の水田

**石井** 去年の5月豪雨により作付の出来なかった水田は今年作付け出来るのか。

**町長** 昨年作付出来なかった被災面積は23・2ヘクタールあり、それらの工事を3月末に発注する。被災された農家の田植え時期までに工事が完成するよう全力を尽くす。

### 自衛官募集の 協力は

**石井** 町では自衛官の募集にどのような形で協力しているのか。

**町長** 秋田募集案内所の依頼を受け、住民基本台帳の閲覧を許可している。また募集要項の町広報への掲載や、自衛隊協力会及び自衛隊家族会の活動を行っている。

### さきがけ政経 懇話会聴講は

**石井** さきがけ政経懇話会予算計上しているが、町長は何回聴講したか。

**町長** 30年度から新たな取り組みとして各分野に関する講演を聞き町施策に活かしたいとして始めた。今年度は日程の都合が合わなく講演を聴くことが出来なかった。職員において講演内容に関心のある場合は出席出来るように、参加のあり方を見直す。



昨年の近畿五城目交流会

# 一般質問

# 単年度収支は赤字 歳出の削減が必要だ

## 町長 大胆な行財政改革が今後必要



伊藤 正春



次世代に負担をかけない財政運営を

**伊藤** 少子高齢化により人口減少が進み、町政にさまざまな影響が出ている。厳しい財政事情で硬直化し単年度収支は赤字である。歳出の抑制と削減が必要だ。行財政改革と財政基盤の確立をどのように進めるか。

**町長** 歳入の町税、地方交付税が減少し、歳出は下水道事業への繰出金の増加、二度に渡る豪雨災害の復旧対策などで経常経費が大幅に増え経常収支比率94・6%になり財政の硬直化が進んでいる。持続可能な行財政運営には人件費の抑制や施設の廃止など大胆な行財政改革を行う必要がある。

### 朝市ふれあい館の指定管理を

**伊藤** 朝市ふれあい館は中心市街地の活性化と賑わいの創出を目的に平成23年オープンしている。物産の店頭展示で経済効果は出ていない。直売は直営では交付金の縛りもあり民間で指定管理すべきと思うが。

**町長** 直売は交付金の性質上、規制緩和の施設でないことから認められていない。多くの公共施設が指定管理に移行しているので、今後検討したい。

### 高齢者の現状と施策は

**伊藤** 本町の高齢化率は47%台になり県3位である。高齢者が安心して暮らせる健康長寿の施策はあるか。

**町長** 男女とも胃がんでの死亡率が高いことから、減塩に対する意識を高め、減塩出前講座による調理実習や健康教室を開催し、普及啓発に努め健康寿命の延伸を図る。

**伊藤** 介護保険料は県1位で全国5位である。滞納者も増えつつある過酷な税である。総合事業で保険料を下げる要素はあるか。

**町長** 保険料を抑制するには給付費を抑えることであり介護予防教室を展開し、介護保険に頼らない元気な高齢者の多い町を目指す。

### 温水プールの指定管理と「ネーミングライツ」契約を

**伊藤** 温水プールは未来プロ交付金事業で水中ウォーキングのできる施設として改修し、平成27年4月オープンしている。水中教室の開催などで入館数は増えているが、運営は業者に委託していることから維持管理費は多額である。指定管理に移行すべきと思うが。「ネーミングライツ」は企業に命名権を付与し、維持費の削減を図る効果

があり進める考えはないか。

**町長** 指定管理については利用者ニーズに即したサービスの事業・情報発信など民間のノウハウを活用したメリット部分とコスト削減に目を向くなどデメリット部分もある。今後、検討していく。命名権についても近隣市町村や多方面においても調査、検討したい。



高齢者が安心して暮らせるまちづくりを

# 一般質問

## 歴史的な新年度を 町長はどう思い描く

### 町長 幸せ・元気・安心が実感できる まちづくりを進める



荒川 滋



災害のない新時代に  
(森山より望む街並み)

**荒川** 元号が変わる歴史的な年、町長はどのような一年を思い描いているか。

**町長** 五城目小学校改築工事着手、防災行政無線稼働、災害復旧早期完成、生活及び産業基盤整備の推進、広域公共交通、地域福祉計画の策定、次期総合戦略の策定など、新しい時代における地方創生の実現に向け、町民の皆様と共に『幸せ・元気・安心』が実感できるまちづくりを前進したい。

**荒川** 新年度予算にあえて名前をつけるとしたら。

**町長** 防災行政無線の本格稼働、消防・防災対策のさらなる充実を期す。

る充実をふまえ『セーフティネット構築予算』と考える。

**荒川** 昨秋に県が行った五城目地区の浸水域調査の経過や結果について、町は把握しているか。

**町長** 国道の冠水を受け実施した原因調査で、内容は地区内の水路の系統確認、冠水状況確認、測量などである。まとまり次第、五城目町など関係機関に調査結果を報告し今後の対応に協議したいとのことである。

**荒川** 県や関係機関と協議し長年の課題である宅地浸水の解消に向け早く結果を出すべきだ。

### 千代田区との 姉妹提携30周年 式典の内容は

**荒川** 平成の時代は千代田区との交流そのものといえる。姉妹提携30周年記念事業はどのように行う。

**町長** 式典は9月6日に町民センター4階で行うことになっている。千代田区から50名、五城目町から70名程度の参加を予定している。詳しくは5月開催の都市交流実行委員会の会議で決定する。



本格運用開始の防災行政無線

### 防災行政無線、 聞きとりにくい 地域の対応

**荒川** 音声が二重三重になり聞き取りにくい地域があるが対応策は。

**町長** 音声不明瞭な地域は職員が出向き調査のうえ、順に調整し、4月1日の本格運用に備える。

**荒川** 火災情報も伝達すべき。

**町長** 本格運用までには情報提供できる体制を整える。

**荒川** 各地域の避難先について町内会などを通じてあらためて周知すべき。

**町長** 避難先は災害の種類や状況により異なる。町内会などに自主防災組織育成リーダーを派遣、訓練し支援していく。

### 町有地、公園の 有効活用を

**荒川** 七倉の旧五城目幼稚園跡地の活用方法は。

**町長** 民間への払い下げ対象用地となっている。

平成28年に広報等で払い下げの募集をしたが募集がないまま現在に至っている。

**荒川** ターミナルパーク磯ノ目バスケットリング撤去の経緯と今後の対応は。

**町長** 利用者のモラルなどに破損修繕が繰り返され、少年深夜徘徊のたまり場にもなり近隣住民から苦情が寄せられたことから、平成23年度に撤去している。再設置の予定はない。



若い世代が集い  
活動できる場所の確保を

**荒川** 戸村堰緑道の路面やフェンスの補修が必要だ。

**町長** 計画的に修繕を実施し、施設の長寿命化に努めていく。

# 一般質問



椎名 志保

# 子どもの養育に 不適切な場合の対応は

## 町長 養育状況を見守り、必要な対応に努める



子どもの命が最優先

**椎名** 千葉県野田市で小学4年生の女の子が命を落とす痛ましい事件があった。子どもが育つ家庭環境の中で、養育に不適切と判断された場合の対応、そういったことが起こらないための手立ては。

**町長** 子どもの安全を最優先に考え、状況に応じて児童相談所や警察などとも連携し、対応に努める。虐待などを未然に防ぐため、関係機関や地域住民との連携・協力のもと、要因が解消できるような相談・支援体制の強化に努めていく。

## 地域包括支援センターを多世代対応に

**町長** これまでの事例を見ると、高齢者本人、またその養護者を含む複合的な問題が生じているため、対象が高齢者だけでなくなってきた。子どもにも生じた困難事例には、健康福祉課の保健師、教育委員会の連携のもと対応している。

**椎名** 専門知識や資格のある人材の採用、人材育成の強化による体制の整備を。

**町長** 社会福祉士1名を配置し、困難事例発生時には、関係者で情報を共有し、支援・対応を検討している。場合によっては警察の協力、弁護士による法的支援も開始されている。

**椎名** 社会福祉協議会との連携を強化し、町独自の「地域福祉計画」を策定し、町民の実状に添った福祉活動を進めていくべきではないか。

**町長** 新たに策定する「地域福祉計画」では、地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助け合える関係、その仕組みを作る「共生社会実現」の指針となる計画にした。

社会福祉協議会で策定済の「地域福祉活動計画」と連携を図っていく。

## 直接的な移住対策を

**椎名** 大瀧村は村内への移住促進に向け「村定住化促進住宅」を建設。隣接地は宅地分譲し、住宅の新築が進んでいる。このような直接的な住まいの対策が必要ではないか。

**町長** 貸家やアパート、宅地分譲など民間による「住まい」を提供する環境が整っている。大瀧村の事例は直接的な住まい対策として、移住により人口を維持する良い事例であり、優良事例の調査と合わせて検討を行ってみたい。

**椎名** 町役場は町内でも大きな事業所の一つであり、優良な雇用の場でもある。採用の条件を「町内への居住を奨励する」としてみてはどうか。採用年齢を大幅に引き上げ、民間感覚を持った人材を採用し、家族での移住を見込んではどうか。

**町長** 募集に際し、居住要件は定めていないが、町内在住者や町出身の意欲ある方の積極的な受験を強く望んでおり、採用試験の周知に努めた

い。「年齢要件の大幅引き上げ、家族での移住」については、第4次職員定員適正化計画策定で検討していく。



住まいへの手立ても必要

## 今後の農業は

**椎名** 農業委員会主催「農業者との意見交換会」の場で、「地域にリーダーシップをとれる者がなく途方に暮れる」「町としてレールを敷いてほしい」などの意見があった。今後の農業をどう描くか。

**町長** 農地の汎用化と大区画化による作業効率の向上、集積による規模拡大が求められており、圃場整備、集団営農の組織化や法人化を推進し、生産基盤を安定させることが重要となる。

J Aや各関係団体と連携し、安定した農業経営の確立に向け、全力で取り組んでいく。

# 一般質問

## 30、40代の職員採用が必要だ

### 総務課長 社会人枠での採用を考えている



佐藤 慶彦

**佐藤** 第6次行政改革推進プログラム（平成32～36年）策定に向けた準備状況は。

**町長** 既成概念にとらわれず中長期的な視点を持って、持続可能な行財政基盤のもと「必要な施策・事業の着実な推進」に向けた計画を策定したい。

**佐藤** 手薄な30代、40代の社会人中途採用が必要だ。

**町長** 平成17～20年度の期間に職員の採用を控えたため、30歳代の職員が極端に少ない状況となっており、第4次職員定員適正化計画（平成32～36年度）を策定するうえで検討したい。

**総務課長** 採用年齢の引き上げでなく、社会人枠での採用を考えている。

### 社会福祉士の増員を



高齢者を支える地域包括支援センター

**佐藤** 社会福祉士1名体制で大丈夫か。\*成年後見制度に係わる相談業務など多忙化し、責任ある仕事も多い。

有資格者の応募がいつあるか分からないため採用の門戸を開いて置くべきだ。団塊の世代が後期高齢者（75歳）になる2025年に向け体制の強化が必要だ。

\*成年後見制度とは、加齢や障がいのため判断能力が十分でない方（認知症高齢者など）の権利を擁護するための制度。

**町長** 地域包括支援センターに社会福祉士資格を有する者を置かなければならないことから、現在1名を配属し、高

齢者等の相談などに応じている。第4次職員定員適正化計画を策定するうえで検討したい。

### 利用しやすい図書館に

**佐藤** 住民開放する五小メディア棟の建設に伴い図書予算はどうなるか。

**教育長** 1階が地域図書室（仮称）、2階が小学校のメディアセンターとなる。

町民センターの図書室にある図書は、全冊地域図書室に移動し、当面は生涯学習課の予算で図書を購入する。

2階メディアセンターの図書は現小学校から移設し、小学校費で管理するが、地域ボランティアの協力も得ながら、効率的に運営していきたい。

### 自前での策定努力を

**佐藤** 31年度当初予算で地域福祉計画策定業務委託として330万円の計上があるが、「健康（こじょうめ21計画）」や「子ども子育て支援事業計画」

などと重複する内容が多々ある。

また肝心な部分は町で思考しなければならぬことを考えると委託料が高すぎる。

この計画に限らず、町職員を育成し、自前で作成すれば、将来的に大幅な経費削減につながる。

**町長** 人材やノウハウなどが不足していることから業務委託で対応したい。

### 湖東厚生病院の運営は大丈夫か

**町長** 改築当初に比べて収支は改善方向にあるが、依然として1億円を超える収支不足が見込まれている。

常勤医師の不足が収支不足となっており、主な原因であり、引き続き常勤医師確保のため、県と厚生連と一体となった活動が必要であると感じている。

「不採算地区公的病院等の助成に要する経費」の範囲内での支援は、存続のためにはやむを得ないものと認識している。

# 児童虐待は絶対許されない

## 一般質問

### 町長 情報を共有し適切に対応する



齋藤 晋

#### 児童虐待はあったか

**齋藤** 児童虐待で対応したケースはあったか。

**町長** 町でも児童相談所や警察署への相談、連携して対応したケースはあるが、身体的虐待のケースは無く、養育の不適切（ネグレクト）によるケースが2件あった。虐待に関する通報・相談者は、本人・家族・こども園・小中学校・地域住民など様々であり、通報・相談先も町・児童相談所・警察署など多岐にわたる。早い段階で関係機関が連携し情報を共有し、適切な連携のもとで対応している。



みんなで子どもを守ろう

#### 児童虐待に対する体制は万全か

**齋藤** 児童虐待に対する、児童相談所・警察など他の機関との協力体制・連絡体制は取れているか。

**町長** 深刻化する児童虐待に対し、関係機関と連携し、予防・早期発見・早期対応・家族の援助その他の児童虐待防止のための諸対策を円滑かつ適切に実施し、児童の生命を守り健全な育成を図るため、五城目町要保護児童対策地域協議会を設置し、ケースが発生した場合、主に学校等を含む関係機関の担当者で構成する個別ケース検討会議を開催し、児童等に対する情報を共有し、対応している。

#### 障がい者雇用率は規定をクリアしているか

**齋藤** 中央官庁が、障がい者雇用の水増し問題になっているが、役場の現状は。

**町長** 役場の障がい者雇用の状況は、平成30年度において消防署員を除く一般職員105名の内、障害者手帳の交付を受けている職員3名を任用している。障がい者雇用の促進等に関する法律に定める2・5%を超え2・86%である。



障がい者にやさしい町に

#### 町道と私有地のトラブル

**齋藤** 町道と私有地の境界をめぐるトラブルの相談があった場合、町としてどう対処するか。相談に対し返答しないのは、おかしいのでは。

**町長** 町民から相談があった場合、相談者の内容に対し返答するのが当然である。まずは相談内容を確認し理解の上、行政が解決しなければならぬ内容であれば、解決に向けての作業に取り組む。行政として持っている知識や他の関係機関からの情報を収集し、解決のため内容をもって相談者に返答する。

その他に

○2月7日開催の鍋祭り  
の検証について

○町道と私有地の境界を確認するには、何を根拠に  
確認するのか

○今年度の除雪費について  
質問しました。

# 陳情

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

**採択**

◆全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

日米地位協定を見直す会

共同代表 難波 希美

▼意見書提出案採決時に退席した議員  
千田 峯夫

**採択**

◆奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

一般財団法人 日本熊森協会

会長 室谷 悠子

**採択**

◆最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 渋谷 一

秋田県労働組合総連合

議長 三浦 宣人

**採択**

◆消費税の中止を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 渋谷 一

秋田県労働組合総連合

議長 三浦 宣人

▼意見書案に賛成の議員

荒川 滋 椎名 志保

佐藤 慶彦 斎藤 晋

佐々木仁茂 石井 光雅

伊藤 正春 佐藤 重信

館岡 隆 千田 峯夫

荒川 正己 石川 交三

▼意見書案に反対の議員

畑澤 洋子

**採択**

◆幼児教育保育の無償化、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を国に求める陳情書

秋田 ほいくを考える会

代表 伊藤 博

秋田県社会保障推進協議会

会長 渡辺 淳



幼児教育保育の拠点、もりやまこども園

## 議員研修報告

安全安心のために

**研修名** 市町村議会議員研修  
防災と議員の役割

**研修期間** 1月10日～1月11日

**研修先**

滋賀県大津市

全国市町村国際文化研修所

**参加議員**

荒川 滋

町政健全化を学ぶ

**研修名**

市町村議会議員研修  
自治体財政の見方

健全化判断比率を中心に

**研修期間** 1月16日～1月18日

**研修先**

滋賀県大津市

全国市町村国際文化研修所

**参加議員**

伊藤 正春

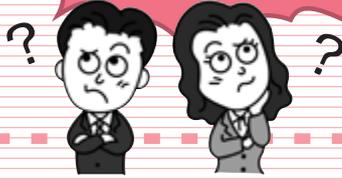


各種研修が行われている  
全国市町村国際文化研修所

(畑澤 洋子)



あれ



# なんとなつたべが!

平成30年3月定例会一般質問より

## 問

地域活性化支援センターの、今後の運営の見通しは。

**答** 平成31年度からの移行をめざし、今後指定管理者の公募に向けて事務手続きを進める方向で検討していく。

**現在** 平成30年度に指定管理者の公募を行い、昨年12月には、一般社団法人ドチャベンジャーズを指定し、平成31年4月1日から管理運営がスタートした。



町直営から(一社)ドチャベンジャーズ管理運営となる

## 問

買い物弱者対策や高齢者の労働環境対策は。

**答** 県の戦略と連携し、安心して暮らせる地域社会を目指す。

**現在** 買い物などの日常生活のサービス機能の維持に向けた新たなコミュニティづくりを進めるた

め、県において、平成31年度からコミュニティ生活圏形成事業に取り組みことになり、県と連携し、五城目町もモデル実施市町村として、地域住民との話し合いなどを行っていく。

## 問

介護保険料が引き上げられ、今後これ以上の負担とならぬよう、早急な対策が必要ではないか。

**答** 高齢者の健康づくりや疾病対策の推進、生活環境の整備、介護予防サービスの提供を適切に実施し、介護給付費の抑制・適正化を図る。

**現在** 各地区で介護予防教室を開催して

おり、男性の参加者も増えている。また、介護保険によらない地域住民同士の助け合いによる生活支援体制の構築に取り組み、介護給付費の抑制・適正化を図っている。

## 問

住民に迷惑な所有者不明の空き家などの対策はどのようするか。

**答** 空き家の増加と老朽化は避けられず、国・県に制度や法律の早急な整備を要望していく。

**現在** 住民に迷惑な空き家については、「空き家等対策の推進

に関する特別措置法」にしたがい対応しているが、所有者不明の場合は十分な対応が困難な状況にあり、引き続き国・県に法律や制度の整備を要望していく。



### まどい 団欒の家 高堂 こみつと会



代表 佐藤 稔さん (仲町)  
(前列左から2番目)

『一度、お立ち寄りを』

◆どのような会ですか。

秋田市内へ引っ越しされた家主さんのご厚意で、空き家となった家屋を近隣の方々が中心となり、気軽に集う場として開放しています。約30名の会員からの年会費で運営しています。開館の目印は、火の用心の赤い旗です。

◆活動の内容は。

ほぼ毎日の午前中、美味



風情ある日本家屋

◆大切にしていることは。

金儲けはしない。宗教や政治の話は無し。お互いに肩書きも無し。「来る者拒まず」を信条とし、誰もが気楽に集い、心和む場所であることを心掛けています。

◆今後の活動は。

無理せず、人に指示せず、自分たちの出来る活動を継続して行うことが、長続きの秘訣だと思っています。

(椎名 志保)

## がんばってます

『最高の瞬間のために』



五城目小学校6年  
五城目野球スポーツ少年団  
主将 佐沢 虎之介さん  
(東磯ノ目)  
(右端が佐沢さん)

野球を始めたのは3年生の時、従兄弟がやっていたことや、仲のいい同級生も始めることがきっかけでした。

2年生から6年生まで13人と少ない人数で活動しています。夏場は五小グラウンド、冬場はスパークでみんな声掛け合いながら楽しく練習を行っています。

もうすぐ公式戦が始まります。自分の活躍もありますが、キャプテンとして一番うれしいことは、チームの勝利です。みんなの力が合わなければ勝つことは出来ないからです。

五城目野球スポーツ少年団は、団結力が強いチームです。野球を一緒に楽しんでやってくれる仲間を募集中です。

意外だとよく言われますが、僕は野球の他にピアノを習っています。コンクールや発表会に向けての練習は大変ですが、最後の拍手をもらう感動は最高です。

野球とピアノは全然違うようにも思いますが、どちらも練習を一日休むと取り戻すのに三日かかると言われています。最高の瞬間のために毎日の練習を大事にやっています。



発表会での演奏

(荒川 滋)

編集 後記



いよいよ新時代「令和」の幕開けである。平成は誠に災害の多い苦難の時代であった。令和は、希望に満ちあふれた、明るい時代となるよう期待したい。

今年ラグビーワールドカップ、来年は56年ぶりとなる東京五輪・パラリンピックと国内では世界大会が目白押しだ。私の世代にとっては、おそらく最初で最後の国内夏季五輪・パラリンピック、ボランティアなど積極的に関わりたいものだ。

町では、まもなく五城目小学校の建設工事が始まり、2年弱の工事を経て、令和3年春には新校舎が利用できる予定である。住民に解放する図書室にも期待したい。

また、この議会だよりも新時代に見合った紙面となるよう今後も努力したい。

佐藤 慶彦